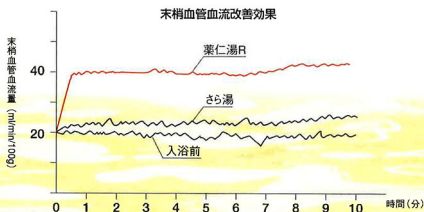


# 漢方薬湯 薬仁湯 (医薬部外品)

「薬仁湯」は単なる温浴効果ばかりでなく、自然の恵みである薬草の持つ薬効を効率よく配合させてある為に、痛みや腫れを改善する鎮痛・抗炎作用、冷えや肩こりを除去する末梢血管拡張作用、湿疹や炎症を緩解させる抗アレルギー作用等、具体的に検証された薬用入浴剤です。

## 【効能・効果】

冷え症、産前産後の冷え症、肩のこり、腰痛、神経痛、しもやけ、疲労回復、あせも、荒れ性、打身、くじき、湿疹、痔、リウマチ、ひび、あかぎれ、にきび



## 薬仁湯の種類と特徴

名称	特徴	改良型 (お湯の色が経時的に 黒く変色しにくい)
薬仁湯M (マイルド)	刺激がほとんど無く子供からお年寄りまで楽しめます。	
薬仁湯R (レギュラー)	刺激を少し感じる。末梢血管血流の改善効果大きい。	
薬仁湯H (ハード)	Rタイプよりさらに刺激が強いので、強い刺激を好む人にお薦めします。	
薬仁湯SH (スーパーハード)	最も刺激が強く根強い人気があります。	
薬仁湯M2	刺激は薬仁湯Mと同等。	
薬仁湯R2	刺激は薬仁湯Rと同等。末梢血管血流の改善効果大きい。	
薬仁湯H2	刺激は薬仁湯Hと同等。強い刺激を好む人にお薦めします。	
薬仁湯UH2	刺激はH2と同等、温浴効果が長く持続します。	

●荷姿：1包/1kg・10kg/箱

(裏面に続く)

**【配合生薬】**

カンゾウ ワイキョウ ケイヒ ショウキョウ トウキ ソウジユツ チンピ バンシヨウ センキョウ サンシシ オウバク ガイヨク コウカ  
 甘草、茴香、桂皮、生姜、当帰、蒼朮、陳皮、蕃椒、川芎、山梔子、黄柏、艾葉、紅花等



※薬仁湯の品種によって生薬の配合は異なります(品種によって配合されていない生薬もあります)

**【1. 薬仁湯の揉み出し】**

- (1) 薬仁湯を不織布に入れたまま(UH2タイプは紙袋から取り出して)、必要量を揉み出し用の布袋に入れ、布袋の口を紐で固く縛ってください。
- (2) 浴槽にお湯を入れながら、薬仁湯を入れた布袋をお湯の吐出口付近で約5~10分間色が出なくなるまで、足で揉み出してください。
- (3) 揉み出し後の薬仁湯は、紐でフック等につなぎ、浴槽に浸しておいてください。

**【2. 入浴方法】**

- (1) 薬仁湯の風呂には、サウナや通常の風呂をご使用后、薬効成分の吸収を良くするため、身体をよく洗ってから最後に5~10分間ご入浴ください。
- (2) 薬仁湯にご使用のお湯の温度は、39~40℃に設定してください。  
 ※41℃を超えますと10分間のご入浴が困難になる場合がございます。

**【3. その他】**

- (1) お湯と薬仁湯は毎日入れ替えてください。
- (2) 循環パイプ等の洗浄は、過酸化水素等の薬剤で毎月1回以上行い、スライム(汚れ)を除去してください。  
 ※循環パイプが汚れるとレジオネラ菌等の細菌が増殖します。
- (3) 薬仁湯をろ過器に通すと、ろ剤によってはお湯の色が薄くなる場合があります。その場合は、ろ剤を無孔の樹脂系等に交換するか、ろ過器をショートパスしてください。
- (4) 薬仁湯の殺菌は塩素系ではなく、薬仁湯用の『イーコレス』をご使用ください。  
 ※塩素系の殺菌剤は薬仁湯と反応し、殺菌効果がなくなります。また塩素によって薬仁湯に悪影響を及ぼします。